



女性役員の活躍による活動の広がり

(通称：なでしこ隊の活躍)

奥入瀬川沿岸地域保全広域協定

発表者：十和田土地改良区

総務主任 福田 司

令和元年11月6日（水）

一橋大学 一橋講堂

(奥入瀬川沿岸地域保全広域協定／十和田土地改良区)



本日の内容

- 1.地区の概要
- 2.活動内容
- 3.広域協定までの動き
- 4.女性活躍の経緯
- 5.これまで苦勞したこと
- 6.なでしこ隊の活躍でよかったこと
- 7.これからの展開



1.地区の概要（その1）

(1) 組織名：奥入瀬川沿岸地域保全広域協定

(2) 代表者：会長 國分弘志

(3) 対象面積 1, 1 1 9 h a

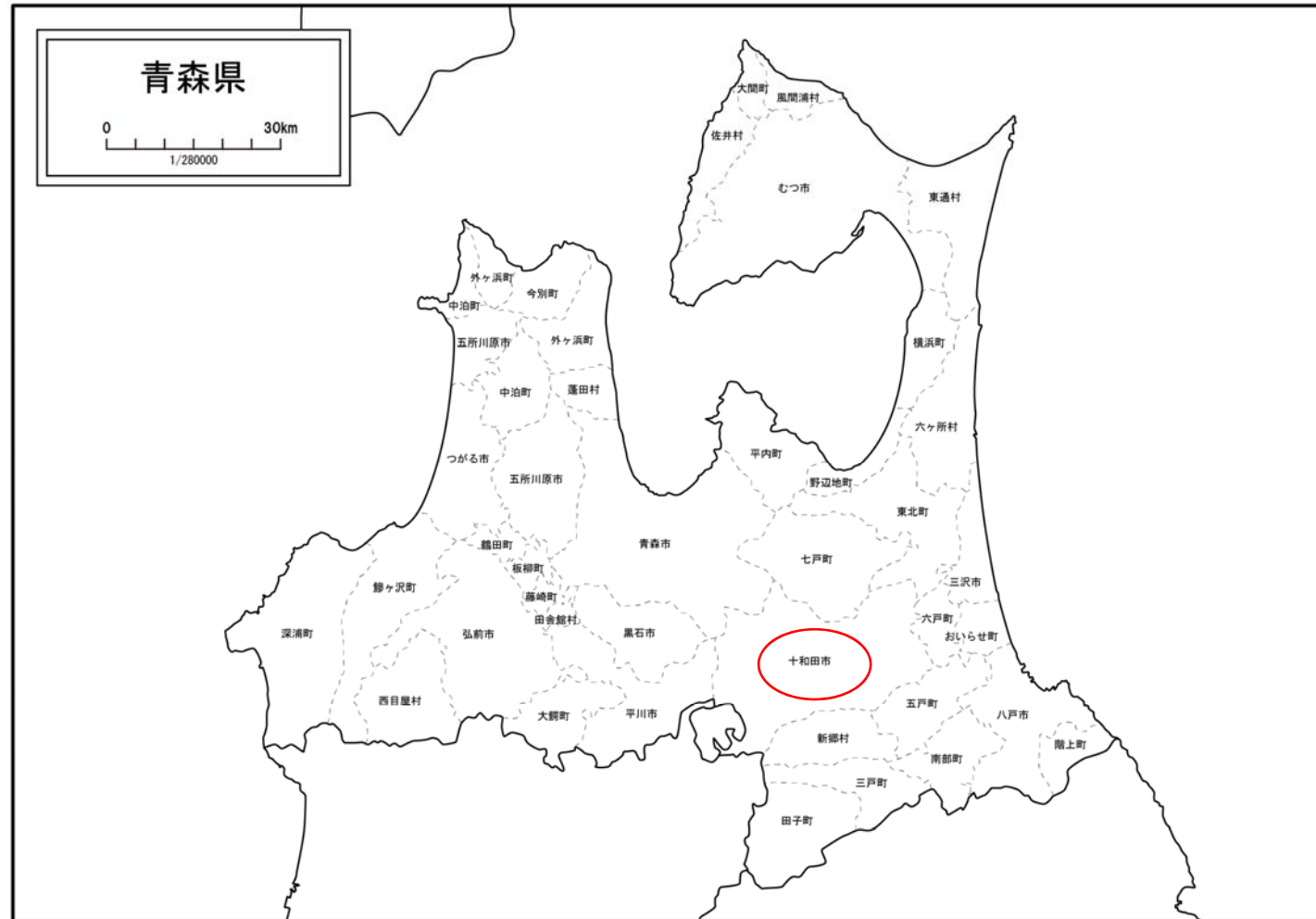
(4) 主な対象施設

開水路 L=277.2 k m、

農 道 L=149.5 k m、ため池 5箇所



1.地区の概要（その2）



（奥入瀬川沿岸地域保全広域協定／十和田土地改良区）



1.地区の概要（その3）

(1) 構成集落：6保全隊他15地区

(2) 構成員：農業者879名、自治会23団体
(712名)



(奥入瀬川沿岸地域保全広域協定／十和田土地改良区)



1.地区の概要（その4）

実施区域図面



（奥入瀬川沿岸地域保全広域協定／十和田土地改良区）



2.活動内容（その1）

【農地維持支払】

水路の泥上げ、草刈り、路面の維持



（奥入瀬川沿岸地域保全広域協定／十和田土地改良区）



2.活動内容（その2）

【資源向上活動（共同）】

目地詰め、植栽、田んぼアート



（奥入瀬川沿岸地域保全広域協定／十和田土地改良区）



3.広域協定までの動き（その1）

◎平成24年

- ・十和田市で集落営農組織のある地域で農地・水保全管理支払交付金の取組が可能となり、4組合で活動組織を設立

◎平成26年

- ・多面的機能支払交付金への移行に伴い、既存組織を含めた15地区をまとめ事務の簡素化を図るため、広域組織として設立



3.広域協定までの動き（その2）

広域協定の組織図

地区名	構成員	代表	副代表	委員	面積
1 相坂・大和地域保全隊 (相坂、大和地区)	421名	1名	4名	9名	24,123a
2 六日町・喜多美町・野崎地域保全隊 (六日町、喜多美町・野崎地区)	267名	1名	4名	9名	24,052a
3 藤島・小山地域保全隊 (藤島、小山地区)	190名	1名	4名	9名	12,970a
4 向切田・白上地域保全隊 (向切田、白上地区)	357名	1名	4名	13名	13,371a
5 切田東部地域保全隊 (下切田、橋場・横道、半在池～滝沢、外ノ沢地区)	219名	1名	4名	12名	20,673a
6 切田西部地域保全隊 (関口～西大沼平、豊川、夏間木地区)	137名	1名	4名	9名	16,756a
計	1,591名	6名	24名	61名	111,945a

組織名	会長	副会長	理事	会計	監査役
奥入瀬川沿岸地域保全広域協定運営委員会	1名	1名	1名	1名	2名

(奥入瀬川沿岸地域保全広域協定／十和田土地改良区)



4.女性活躍の経緯（その1）

当組織は15地区が参画する広域協定
各活動は各地区が実施

しかし



高齢化、担い手不足



泥上げ等の活動では作業に参加する人員が
不足している状態



4.女性活躍の経緯（その2）

このような状況の中、本広域協定内の
「関口～西大沼平」地区には4名の女性役員



この役員が中心となり構成員の女性に積極的に
声掛け



当初、参加者は少なかったが、粘り強く
声掛けをした結果、徐々に参加者が増加



4.女性活躍の経緯（その3）

参加者が増えるにつれて、
通称「なでしこ隊」と呼ばれるようになる



泥上げ等その他各活動に積極的に参加



地域の農地、農業用施設および農村環境の
保全管理に努めている



4.女性活躍の経緯（その4）

活動状況①



（奥入瀬川沿岸地域保全広域協定／十和田土地改良区）



4.女性活躍の経緯（その5）

活動状況②



（奥入瀬川沿岸地域保全広域協定／十和田土地改良区）



4.女性活躍の経緯（その6）

活動状況③



（奥入瀬川沿岸地域保全広域協定／十和田土地改良区）



5.これまで苦労したこと(その①)

◎当初はなかなか、参加してもらえなかった



- ・役員4名が団結し、粘り強く声掛けを行った
具体例①「町内会」の集まりや「湯っこの会」の際
に声掛けを行った

具体例②作業通知書を一軒一軒手渡しで配付した



5.これまで苦労したこと(その②)

◎家の仕事とのスケジュール調整が大変

具体例①食事の支度のため、お昼前や夕方の集会には参加できない

具体例②水稻に合わせてスケジュールを組むため野菜農家が参加できない



・活動時間を調整した結果、参加者が増えた

具体例①意見交換会等は日中に開催

具体例②午前7時から午前11時までの半日作業



6.なでしこ隊の活躍でよかったこと

- 女性の参加者が増えた
- 若い人の参加者が増えた
- 子供の参加者が増えた
- 活動が明るくなった
- 今まで以上にきめ細やかな保全管理が行えるようになった



7.これからの展開

- もっと参加人数を増やしていきたい
- 若い人の参加をうながしたい
- 地区間の横のつながりをもっと増やしていきたい
- なでしこ隊が主体の活動を実施したい
- 子供が参加できる活動を実施したい
- 草刈機や重機(バックホー等)の免許取得を目指したい



ご清聴ありがとうございました



(奥入瀬川沿岸地域保全広域協定／十和田土地改良区)